

事業所向け 自己評価表 集計結果

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	2	8	0	スタッフ間で、利用数に対してのスペース確保が適切かどうかという部分で意見がわかれ、狭いと感じる意見と、適切という意見、どちらとも言えないという意見さまざまな状況でした。工夫できていた点としては、今年度の後半では、本館横の別棟(通称、別館)の活用も開始しており、運動などの発散が必要なお子様は本館で、静かに過ごしたいお子様は別館で過ごしていけるように環境と体制整備を行っていると思います。今後も限られたスペースをどのように整備してお子様を提供していくかスタッフで協議していきながら取り組んでいきます。 本館の部屋の使い方として、個室の需要が集中していることもあれば、個室に分かれすぎて全体を見ている人がいないこともあり、利用されているお子様の全体把握が薄い状況も見られている為、状況把握の体制を検討していく必要がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	5	0	法令順守して、基本人員以上にスタッフを配置しております。 しかし、預かり支援と個別療育が重なる15時～16時の手が薄く、リスクが高いと感じることがあるとの意見が挙がりました。余裕をもって対応が行えるように体制整備を行っていきます。K また、預り支援が10名以下の時は余裕があるものの、それより多くなる場合が余裕がなくなる時があるとの意見も挙がりました。スタッフ配置および過ごし方の工夫でもできることがあると思いますので、引き続き協議を行いながら取り組んでいきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	5	預り支援で使用している本館は、以前は土間で各部屋に入る時にこあがりになっていました。 段差解消の為、前面フローリングとし、段差を極力解消いたしましたが、個室の扉の仕切り板、タイルカーペットでのつまつきがあり、改善が必要な事案があがっていました。 可能な限り段差を解消し、つまつきや転倒などにつながらないようにします。
適切な 支援の 提供	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	1	0	
	⑤	保護者向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1	0	
	⑥	この評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	1	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	3	2	現在、第三者による外部評価は行っておりません。今後、必要に応じて外部評価を検討していきます。
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	1	昨年度よりも研修や会議・ミーティングの時間が設定でき、資質向上の為の取り組みが行えたと感じます。 しかし、研修の機会を増やして欲しいという意見も挙がりました。2024年度、年間の研修計画を作成して、事業所全体で取り組んでいけるように仕組化していきます。	
関係機関 や保護者 との連携 関係機関 や	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	2	0	課題として、利用開始前のフェイスシートに空欄がある。初回にしか分からない踏み入った情報(家族についてなど)が少なく、バックグラウンドの想像が難しい為、初回で聞きづらいこともあるが、可能な限り確認して空欄のないように努めていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	2	0	標準化されたツールを活用して、事業所独自の発達チェックシートを作成し、活用しています。しかし、活用できている人、できていない人、有耶無耶になってくるケースなどがあるとの意見がありました。ツールの活用方法に関して、今一度研修を行うことと、更新していく仕組みを整えていく必要があります。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	1	0	一日の活動について、事前にミーティングにて協議をしています。また、ミーティングに参加できていないスタッフに対しても、伝達の時間を設けて共有しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1	0	話し合いやミーティングにて活動内容を確認しています。お子様の成長やご意見に合わせて、活動の準備を行っています。今後も引き続き取り組んでいきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	2	0	平日と長期休暇で過ごし方のベースを変えています。また、平日でも過ごし方を日々協議して、スタッフ配置や活動のもっていきかなどを検討しています。長期休暇は、日ごとに活動を設定して、平日の時間では提供できない活動を設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	0	お子様の状況・特性に応じて、個室や別館での個別対応を行ったり、集団活動(運動あそびなど)や個別活動(製作など)に分かれて過ごしています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	1	0	当日、必ずミーティングの時間を設けており、前日の振り返りと当日の過ごし方の計画を立てています。	

保護者との連携	⑩	支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	9	1	0	支援終了後は、終礼を行って振り返りを行っています。しかし、終礼と記録の時間が重なった際に、終礼と記録が同時進行になってしまい、全員が話し合いに集中できていない状況も見られます。記録時間をどのように確保していくかの検討が必要。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	1	0	日々の支援記録は保護者様へのご報告用、スタッフ共有用の2種類を記録しております。保護者様への報告用は、書けていますが、スタッフ共有用に関しては、書いている人と書いていない人の差。書けている日と書けていない日の差がある為、最低でも個別対応に入ったお子様の分は必ずスタッフ共有用を記入するという意識を高めていく必要があります。
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1	0	・6か月に1回の頻度で、振り返りを行っており、目標に対しての達成度合いと次なる課題を明確にしております。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	3	7	0	・個別個別に対応しているが、システムティックにはできていない。2024年以降、個別支援計画を5領域に分けてアセスメントをして、課題を設定し、プログラムを立案していく必要があります。また、プログラム化までを仕組化していくことが求められております。1年間を通して、事業所の支援のベースを作っていく必要があります。
保護者への説明責任等	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	3	0	・担当者会議は児童発達管理責任者および担当者が出席するようにしています。
	⑮	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9	1	0	行事などについては、保護者様からのお知らせが主であり、学校との情報共有というところまでにはいたっていないのが現状です。
	⑯	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	10	0	・2024年度から医療的ケア児に対応した事業所を開設する予定であり、主治医などの連携を図っていく予定です。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	4	0	
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供する等しているか	1	9	0	・学校卒業後の移行支援が必要になってくるお子様が少しずつ出てきております。必要に応じて、高等部での職場体験先との連携を図り、お子様が安心・安全に体験が行えるように努めております。今後も引き続き取り組んでまいります。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	9	0	・外部研修に関しては、情報提供をスタッフに行っております。勤務時間中の研修にも必要に応じて受けられるように体制整備しておりますので、現場と相談していきながら取り組んでいきます。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	6	・現在は地域の方々と交流する機会は設けておりません。外出活動などで、公園で一緒になることはあります。今後、企画として取り組んでいくかどうかは協議していきたいと思っております。
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	7	2	1	・自立支援協議会への参加を行っています。現在は代表が主に参加しておりますが、地域連携を現場レベルで行っていただけるように他スタッフの参画も検討していきたいと思っております。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1	0	・個別療育や保護者様のお迎えの際に、お子様の状況を常に確認して行っております。また、事業所公式LINEアカウントを活用していただき、日々の悩みや相談事項をタイムリーに発信していただけるようにしています。直接的な関わりと、電話やLINEでの関わりを交えながらタイムリーに伝え合えるようにしております。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	2	1	・ペアレントトレーニングという形式では実施できていませんが、日々の療育の中でのご相談対応や関わりのポイントなどをお伝えしております。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1	1	・契約時に丁寧に説明するように心がけております。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1	1	・療育の際やお電話、事業所公式LINEを活用いただきながら、ご相談に対応しております。 ・悩む点などは、スタッフ間で話し合い、温かい支援をしていきたい。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	1	0	・年2回(茶話会と説明会)を実施して、保護者様同士の交流の機会となるように努めております。できるだけ多くの保護者様が参加できるように日時を検討していきたいと思っております。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	0	・苦情対応についての対応マニュアルを作成しております。また、事業所内への掲示も行っております。
	㉔	定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	9	1	0	・定期的な会報の作成は行っていません。ホームページやInstagramでの発信をしております。事業所公式LINEを活用して、事業所からの行事予定やお知らせを配信しております。保護者様への配信と外部への配信は目的と個人情報などに留意して取り組んでおります。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	10	0	0	・個人情報を守ることを徹底しております。

	⑩ 障害のある子や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてイラストや文字を使って、お子様が理解しやすいように工夫をしています。 ・スケジュールの掲示や写真カードなども活用して、お子様からの表出もしやすいように工夫しています。 ・どのようなツール・方法があるのかを知る研修が必要なのではないか。
	⑪ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を招待するということは大々的には行っておりませんが、長期休暇中の活動ボランティアの招待、学校教育の一環での活動として機会の提供など、開かれた事業所になるように日々関わっております。また、地域事業者や事業所同士のつながりも持てるように積極的に見学などに来ていただいています。
非常時等の対応	⑫ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルの整備とスタッフ周知を行っております。 ・随時、マニュアルの更新や追加作業を行っていきながら、周知・徹底を図っていきます。
	⑬ 非常災害の発生に備え、定期的に非難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の消防訓練を行っています。 ・来年度からは重症心身障がい児・者に対応していく為、救急救命研修も行っていく予定です。
	⑭ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修を年1回開催しております。日々の気づきなどを伝え合う部分を高めていきながら、虐待の芽となりうるかもしれないところに気づけるようにしていきます。
	⑮ どのような場面にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	6	0	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束なども慎重に情報を取り、同意などを必ず得るように気を付けていきたい。
	⑯ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーをもっているお子様は把握しているが、保護者様との確認しか取れていないので、医師の指示には基づけていない。 ・現在の事業所では、医師の指示書提出のお子様がない。 ・把握し、必要な時に対応できるようにしたい。
	⑰ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット記入用紙を整えて、日々の終礼での確認とミーティングでの振り返りを行っています。 ・事例などにも目を通し、活用や意識して関わりたい。